

子どもの火遊びによる 火災が増えています！



子供の火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため火災の発見が遅れ、火災が拡大する要因になります。火遊びによる火災は、全国で毎年300件以上発生しています。

火遊びによる火災をなくすためにも、大人が子供たちに対し、火災の恐ろしさや正しい火の取扱い方法を教える必要があります。子供の火遊びによる火災が起こらないよう、もう一度子供たちと火災の恐ろしさ・火の取扱いについて話し合しましょう。

火遊びによる火災防止のポイント

- 1 大人が家にいる時は、子どもだけを残しての外出を極力控える
- 2 ライターやマッチは子供の目につかない所に保管する
- 3 子供だけで火を取り扱わせない
- 4 火遊びをしているのを見かけたら注意する
- 5 火災の恐ろしさ・火の取扱い方法についてきちんと教育する



火遊びによる火災は、 大人が予防すべき「人災」です！